

『超伝導研究を支える〇〇技術』

最先端の超伝導研究は、高度な計測機器技術に支えられていると言っても過言ではありません。本研究会では、従来の研究者主体の講演ではなく、民間企業のエンジニアの方々をお招きし、機器の基礎原理から応用、最新製品紹介に至る一連をご講演いただきます。初学の学生さんから第一線の研究者にいたる幅広い方々の今後のご研究にお役立ていただければ幸いです。因みに、各講演タイトル左の【 】のキーワードは、上記研究会タイトル中の「〇〇」に対応しております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



■ 主催：応用物理学会 超伝導分科会

■ 協賛：低温工学・超電導学会

参加申込フォーム

■ 日時：2023 年 7 月 5 日(水) 13:00 ~ 17:00

■ 場所：愛知県産業労働センター(ウインクあいち) 15 階 + オンライン (ハイブリッド開催)

<http://www.cstc.or.jp/cicn/files/ekimaehub.pdf>

プログラム（講演タイトルは仮題を含む）	
13:00~13:05	開会挨拶 超伝導分科会幹事長
13:05~13:40	【アンプ】 微小信号測定の基礎知識とプリアンプ (Zoom) 金田 正文 (エヌエフ回路設計ブロック)
13:40~14:15	【センサ】 高温超電導 SQUID センサと脱炭素社会 安達 成司 (超電導センサテクノロジー)
14:15~14:50	【マイクロ波・ミリ波】 超低温時のマイクロ波・ミリ波回路構成の重要ポイント 鈴木 洋介 (キーコム)
14:50~15:10 休憩	
15:10~15:45	【電子顕微鏡】 電磁場を見るホログラフィー電子顕微鏡 – 開発の歴史とその応用成果 – 品田 博之 (日立製作所)
15:45~16:20	【物性測定】 新旧 PPMS 比較と多彩な物性測定オプション/拡張性のご紹介 佐藤 宏樹 (日本カンタム・デザイン)
16:20~16:55	【冷却】 量子技術を支える無冷媒希釈冷凍技術 大田 剛司 (ロックゲート)
16:55~17:00	閉会挨拶 超伝導分科会幹事

参加費（消費税込、資料代込）： 超伝導分科会会員 2,000 円、応用物理学会および協賛団体会員 3,000 円、非会員 4,000 円、学生 1,000 円

申し込み方法： 7 月 5 日 13:00 (研究会開始) までに、超伝導分科会 HP

<https://annex.jsap.or.jp/support/division/super/> にある研究会参加申込フォーム（上記 QR コード）にて、(1) 所属、(2) 氏名、(3) 連絡先 (TEL, E-mail)、(4) 会員種別、(5) 参加予定種別（現地 or オンライン）を記入してお申し込み下さい。会場スペースの都合上、申込上限があります。上限に達した場合は先着順で締め切りとなりますのでご注意ください。

問合せ先：

有吉 誠一郎 (豊橋技科大) e-mail: ariyoshi@tut.jp

淡路 智 (東北大) e-mail: awaji@imr.tohoku.ac.jp

堀出 朋哉 (名古屋大) e-mail: horide@nuee.nagoya-u.ac.jp

末吉 哲郎 (九州産大) e-mail: s.teturo@ip.kyusan-u.ac.jp

筑本 知子 (中部大) e-mail: nchiku@isc.chubu.ac.jp